

大麦だより

JA小松市

最終号

令和3年5月20日

- 圃場の表面停滞水がみられる場合は速やかな排水をお願いします。
- 本年は好天日が続き、刈取予想日は始期5月26日頃、適期5月下旬～6月上旬となります。
- 品質向上に向けて、次の点に留意して収穫作業を行ってください。

1. 収穫前に圃場の確認をしましょう！！

① 雑草・異種株等の抜き取り

カラスノエンドウの種子、雑草(野大根)、異種株が混入したものは、JA共乾施設では荷受けできませんので、必ず抜き取りを実施して下さい。

② 赤かび発生区域の除外

万一、赤かびの発生が見られた場合、刈り取らないように除外を徹底して下さい。

③ 異物混入の防止

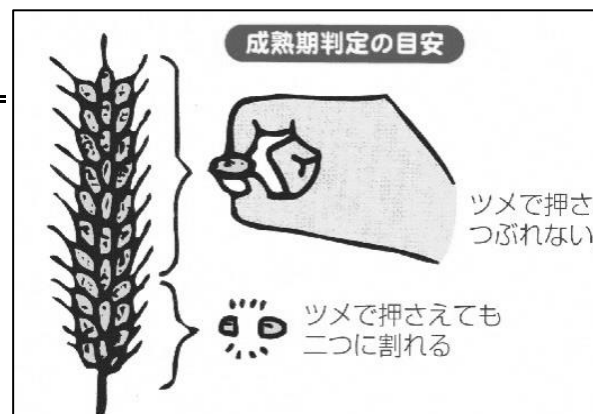
異物混入のないよう圃場内を見回り、空き缶やペットボトルといったゴミ等は取り除きましょう。

2. 必ず大麦の水分を確認して、収穫しましょう！！

① 判断の目安

穂軸や茎葉が完全に黄化し、粒の基部に青味が全く残らず、麦の硬さはろう状で、爪で押さえて、爪跡が残る程度

※収穫時期が早いと、空洞粒や硬質粒が発生しやすくなります。



② 麦粒水分の測定

単粒水分計で測定し、30%以下で刈取り開始して下さい。

収穫最適水分: 25%

※JAで収穫適期を調査しご案内しますが、事前に各カントリー設置の水分計で確認して下さい。

③ 収穫後は早めに搬入を

収穫後の高水分麦は、そのまま放置すると腐敗し、異臭麦や熱損粒となるため、収穫後2時間以内にJA共乾施設に持ち込んで下さい。

3. 収穫作業のチェックポイント

☑欄

- ☐ 事前に大麦生産履歴記録簿を提出し、JA認定証を受け取った状態で施設へ搬入して下さい。
- ☐ 異物混入のないように、事前に圃場や圃場周辺を見回りましたか。(空き缶・ペットボトル等)
- ☐ カラスノエンドウ、異種株、野大根など、完全に抜き取りましたか。
- ☐ 麦粒水分30%以下(目標25%)を確認して、刈取りを始めましょう。
- ☐ 米混入防止にコンバインの清掃・点検を徹底しましょう。また、選別を麦用に合わせましょう。
- ☐ フレコン搬入の場合、ひも等の傷みがないか確認しましょう。
- ☐ 収穫前に GAP チェックシートの各項目を確認し、支店への提出をお願いします。